

姉妹校盟約締結の経緯

東十条小学校は、昭和44年から51年までの7年間、与論町那間出身の故山下為吉先生が校長をされた学校で、その間に東京与論会の運動会、与論からサトウキビの価格陳情の為に上京した際に会議などの会場を提供していただいた学校です。

これが縁で交流が深まり、関係者の努力で昭和55年9月20日に、東十条小学校で、本町三小学校との姉妹校盟約が締結されました。

東十条小・与論3小

交流の軌跡

姉妹校盟約から30年の間、学校便りや行事等での祝電の交換、また毎年児童作品の交換も行われ、それぞれの学校には、お互いに交換した作品が所狭しと並べられています。

また、本町3小学校から東十条小学校への体験学習は、平成8年に始まり、今までに67名の子どもたちが参加してきました。

この子どもたちの中には、すでに島を離れ、自分の夢に向けて各地で頑張っている人もいます。

一方、東十条小学校からも、子ども達、保護者の方々の与論島訪問も継続して続けられ、相互の交流を深めています。

この、東十条小学校と本町3小学校の間で行われている体験学習は、本町の子どもたちにとっては都会の学校で過ごす貴重な体験を、東十条小学校の子どもたちにとっては、豊かな自然、青い海に囲まれて過ごす自然体験を、普段することのできない意義深い体験になっています。



記念式典 3小学校児童代表の挨拶より
茶花小学校 嶺島 歩さん

今年、東十条小学校への体験学習に参加できるようになり、今から東京での活動を楽しみにしています。

私は、この体験学習を通して、普段できない整理整頓が出来るようになりたいと思います。

そして、この東十条小学校との交流がこれからもずっと続いてほしいと思います。私がいつかお母さんになった時に、自分の子どもにも東十条小学校との交流を体験させてあげたいと思います。



▲北区長から贈呈 安藤広重の絵



▲北区の木「イチョウ」を植樹



▲与論小十五夜踊りを披露



▲東十条の子ども達 校歌を斉唱